

東日新聞

TONICHI NEWS

発行者/東海日日新聞社 <http://www.tonichi.net>
〒440-0874 愛知県豊橋市東松山町90番地 TEL.0532-53-2800 FAX.0532-53-7222 E-mail post@tonichi.net

地域を笑顔に

- ② 豊川JCが定時総会
- ③ スロータウン映画祭あす開幕
- ④ 来月7日まで新村猛写真展
- ⑤ 特別展とうふねこ座の世界 初開催
- ⑥ 豊川オリジナル歯みがきの歌お披露目
- ⑦ お茶研究者松下さんが寒茶講習会



交通事故死ゼロの日
毎月10日・20日・30日
★反射材 光るあなたの 心がけ
★うんてんしゅさん ちいさなぼうが みえますか?
★運転中 紅葉マークに 思いやり

豊橋自動車学校
豊橋校・豊川校

田原名物のいも切り干しを食べて育った女性グループ「いもきり星・あぶり隊」など、中心市街地の活性化に取り組み4団体で、街歩きマップづくりを目標として新チームを発足させた。昨年度作製した街歩き用マップをリニューアルした

「町のお宝」マップ作製大詰め

市街地活性化に取り込む4団体 初稿を検討 改善点意見交換

「たはらとれじゃーどじゃーマップ」づくりが大詰めを迎えている。

「町のお宝」をテーマにしたマップは1万部発行。手書きのイラスト入りで、店主らおすすめのお酒や和菓子店、田原祭りの関連スポットなど70カ所を紹介して



マップの初稿に目を通しながら改善点について話し合った。マップ作りに携わったつとん店「伴喜」の伴正光店主(45)は「田原祭りの後の花火は規模の割に近くで見られて満足できる。あまり知られていないものを紹介していきたい」と意気込む。鋤柄美和子さん(36)は「観光客や市内の人にもお店に入ってもらえたら」と期待している。マップは、2月19日に三河田原駅前で開催される軽トラ市や道の駅などで配布する予定。(深田いづみ)



県の自動車安全技術開発支援事業

豊橋技科大の研究會採択

地元企業とも協力し ビッグデータ活用 課題など抽出 管理システム構築へ

交通死亡事故全国ワースト1の返上を目指す愛知県が取り組んでいる自動車安全技術開発支援事業に、豊橋技術科学大学の松尾幸二郎助教(建築・都市システム学系)を座長とする「ビッグデータ活用型交通安全管理システム研究会」が採択された。地元企業とも協力して、システム構築に向けたニーズや課題の抽出を行う。(石川正司)

同大学で開かれた定例会見で松尾助教は、近年の交通事故について「死者は減少しているが、幹線道路と比べ、生活道路での歩行者の事故の減少は緩やか」と指摘。道幅が狭く

は、近年の交通事故について「死者は減少しているが、幹線道路と比べ、生活道路での歩行者の事故の減少は緩やか」と指摘。道幅が狭く

「たはらとれじゃーどじゃーマップ」づくりが大詰めを迎えている。

「町のお宝」をテーマにしたマップは1万部発行。手書きのイラスト入りで、店主らおすすめのお酒や和菓子店、田原祭りの関連スポットなど70カ所を紹介して

マップの初稿に目を通しながら改善点について話し合った。マップ作りに携わったつとん店「伴喜」の伴正光店主(45)は「田原祭りの後の花火は規模の割に近くで見られて満足できる。あまり知られていないものを紹介していきたい」と意気込む。鋤柄美和子さん(36)は「観光客や市内の人にもお店に入ってもらえたら」と期待している。マップは、2月19日に三河田原駅前で開催される軽トラ市や道の駅などで配布する予定。(深田いづみ)

抜け道として交通量の多い生活道路での安全確保は、国の「第10次交通安全基本計画」にも盛り込まれた重要課題となっている。

しかし、生活道路での交通量に関するデータは、幹線道路と比べて極めて乏しいのが実態。そうした中で、道路交通ビッグデータ、中でもカーナビなどで位置情報や速度等を記録する自動車プローブデータの活用が期待が集まっている。

研究会では、ビッグデータを活用した交通安全管理に求められるシステムの構築に向け、様々な立場からのニーズや課題を抽出し、その解決方法の検討を行う。委員会には、地